

平成31年度第1回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成31年 4月 15日 (月) 16時00分～19時50分

場 所 看護学科棟1階 N102室

出席者 ■若崎委員長 ■小笹委員 ■福岡委員 ■高田委員 ■大矢委員
■神田委員 ■飯塚委員 □安藤委員 ■三代委員 □阿食委員
(■が出席, □が欠席を表す)

委員以外の出席者 申請者 (井上院生)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。
- 平成31年3月開催の平成30年度第8回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。
- 看護研究倫理委員会委員について
平成31年4月1日から看護研究倫理委員会委員が改選され、新たな委員となったため、委員名簿の確認をした。

議事

1. 委員長, 副委員長の選出について

委員の互選により、委員長に若崎委員を選出した。

引き続き、若崎委員長から、医学部看護研究倫理委員会規則第4条第2項に規定する委員長代行を小笹委員に依頼したい旨の説明があり、了承された。

2. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：骨髄バンクコーディネーターの職務におけるやりがいと困難

・・・・・・・・資料1

若崎委員長から、資料1のとおり井上院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の井上院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

(2) 課題名：薬物療法を継続する再発乳がん患者のレジリエンスを促進する看護介入プログラムの開発

－看護介入プログラム試案の作成に向けた基礎調査－

・・・・・・・・資料4

小笹副委員長から、資料4のとおり若崎教授より申請があったので審議

願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の若崎教授から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

(3) 課題名：術後薬物療法を受けている肺がん患者が治療と就労の両立を継続するうえでの困難と対応

・・・・・・・・資料3

若崎委員長から、資料3のとおり飯塚院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の飯塚院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、微細な修正の範囲を超えており、再審査の必要があることから保留とすることとした。

(4) 課題名：異変を感じてから診断に至るまでの前頭側頭型認知症者の配偶者の体験

・・・・・・・・資料2

小笹副委員長から、資料2のとおり光貞院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の光貞院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、微細な修正の範囲を超えており、再審査の必要があることから保留とすることとした。

(5) 課題名：中堅前期保健師の職場の支援体制と実践能力との関連

・・・・・・・・資料5

若崎委員長から、資料5のとおり今岡院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の今岡院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

2. 報告事項

○審査結果について（迅速審査）

- 1) 申請者：AB 病棟 3階 看護師 山本 りえこ

課題名：母子分離状態にある褥婦に対して産褥早期から電動搾乳機の INITIATE プログラムで授乳セッションを用いた母乳分泌促進効果の検討

審査結果：承認（平成31年3月25日付け）

○審査結果について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 井上 悦子

課題名：日本骨髄バンクコーディネーターの職務継続意思の関連要因

審査結果：保留（平成31年3月11日付け）